

この記事は旧版の記事となります。

ワイメール

Ver2.28より、SPFチェックボタンが廃止され、ドメイン認証チェックボタンに更新されました。

コントロールパネルの「基本設定の編集」ページでSPFチェックを行った際、結果が「ERROR」になっている場合、下記の原因が考えられます。

設定した送信元ドメインのレジストラにて、SPFレコードの登録を行っていない、または構文や設定が誤っている

SPFレコードの設定については、[こちら](#)をご参照ください。

同じドメインに対してSPFレコードが複数設定されている

1つのドメインに対して設定できるSPFレコードは1つのみとなり、複数設定されている場合はDNSの応答によって意図しない結果となる場合がございます。

そのため、ワイメールのSPFチェックでは、複数のSPFレコードを検出した際にERRORが表示されます。

なお、複数のSMTPサーバーでSPF認証を有効にしたい場合は、[こちら](#)をご参照ください。

DNSのキャッシュが更新されていない

SPFチェック機能が利用しているDNSサーバーに残存した古いレコードのキャッシュが原因で、ERRORが表示される場合がございます。

通常数時間のうちにキャッシュは更新されるため、時間をおいてから再度お試しください。Gmailなど、お客様自身が確認できるメールアドレスにテスト配信を行い、SPF認証が成功しているかをご確認ください。